

令和3年度経営学科ゼミ選定資料(ゼミの概要について)

研究室名	国際政治経済研究室	担当教員	松村博行
担当教員の専門分野			
科学技術イノベーションをめぐる国家と市場(企業)の相互補完関係および緊張関係を読み解くという問題意識が私の研究の柱です。ここから、日米同盟、経済グローバル化、アメリカ経済、防衛産業などの個別テーマへと研究を展開させています。			

ゼミの概要について
<p>① 扱うテーマ: 国際関係、日本政治、グローバル経済、安全保障、外国事情など。</p> <p>② ゼミの進め方: 文献研究が中心ですが、選ぶ研究テーマによっては、アンケートやインタビューも行ってもらいます。</p> <p>③ 獲得を目指す能力: 「なぜ?」と問う心。そして「ホンマか〜?」と疑う心。</p>

ゼミの担当教員がゼミに来てほしい学生に期待すること
<p>① 本や論文をしっかりと読むこと: インプットがなければよい卒論は書けません。</p> <p>② 議論に参加し、自分の意見を表明すること: ゼミナールの良いところは、自分の発表に対し、他の人がフィードバックをくれるところです。仲間の思考を深めるために、ぜひ積極的に意見を出して下さい。</p> <p>③ 授業以外のゼミ活動にも積極的に参加すること: ゼミでの交友関係は、社会人になってからも続くものです。イベントや飲み会などを通じ、ぜひ横のつながりを積極的に作って下さい。</p>

今までのゼミ活動の紹介
<p>○ 最近の卒論テーマ: 若者の車離れは本当か? / 中国人民元の国際化は可能か? / 地政学ってどんな「学」なのか? / 持続可能な医療保険制度とは / なぜ警察の介入の範囲は広がっているのか、など。</p> <p>○ かつては、「日本人はなぜ武器輸出に否定的な意識をもつのか」というテーマでアンケート調査を行った学生や、「岡山の日本酒の輸出戦略」というテーマで酒蔵にインタビューを行った学生もいました。</p>

その他希望する学生に伝えておきたいこと
<p>○ 例年、夏休み明けの頃に近畿大学経営学部のゼミと合同研究会を大阪で実施しています。ここで皆さんの卒論構想を発表してもらい、近大の学生や先生からコメントを貰います。これには必ず参加して下さい!</p>

ゼミ選択のために担当教員の研究室を訪問する際の注意事項について
<p>第一志望で出そうと思う人は、必ず研究室を訪問して下さい。</p> <p>9日、12日午前、14日、15日は身が空いています。</p>